



株式会社 長浜製作所

環境経営レポート

2023 年度

(対象期間 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



®環境省

エコアクション21

認証番号0013490



作成日： 2024年10月15日

更新日： 2024年12月26日

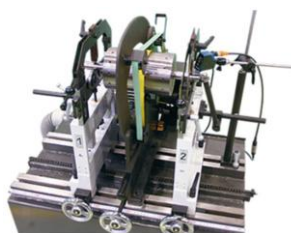
目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

専用バラシングマシン



汎用バラシングマシン



立形バラシングマシン



□ごあいさつ

長浜製作所は、1948年の創業以来、「顧客至上」の理念のもと活動が続けてまいりましたが、今後も優れた技術と確かな品質の製品とサービスをお客様にご提供できる喜びを、お客様や仕入れ先様と共に分かち合うことができるよう不断の努力を続ける所存です。

近年、益々グローバルな企業活動が求められる環境の中、私どもの得意分野に集中し、お客様の海外事業展開にお役に立てるよう、日本国内に限らず、世界各国で広く活動できる体制を築き上げていきます。

また、低コストに対するお客様のご要求に応えられるよう、開発・設計・製作・調達など総合的な努力を重ねてまいります。

皆様から信頼していただき、末永くお付き合いいただけるよう、一層努力し、一步一步成長を目指してまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

環境経営方針

< 環境経営理念 >

長い歴史に裏打ちされた業界のリーディングカンパニーとしての誇りと自覚を持って行動する。その一環として、環境の保全に努め、環境に優しい企業として社旗的責任を果たすことと、住みやすい地域社会の環境作りに貢献することを目指します。

本業であるバルシングマシンの生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社が一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

< 環境保全への行動指針 >

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 環境に配慮した受注生産活動を行い、地域環境保全に貢献します。
- 3 . 環境活動手順を定め、必要に応じて活動手順の見直しを行い、地域社会に貢献します。
- 4 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 5 . 廃棄物の削減・再利用活動に取り組みます。
- 6 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日： 2020年12月1日

代表取締役社長 三村昌弘

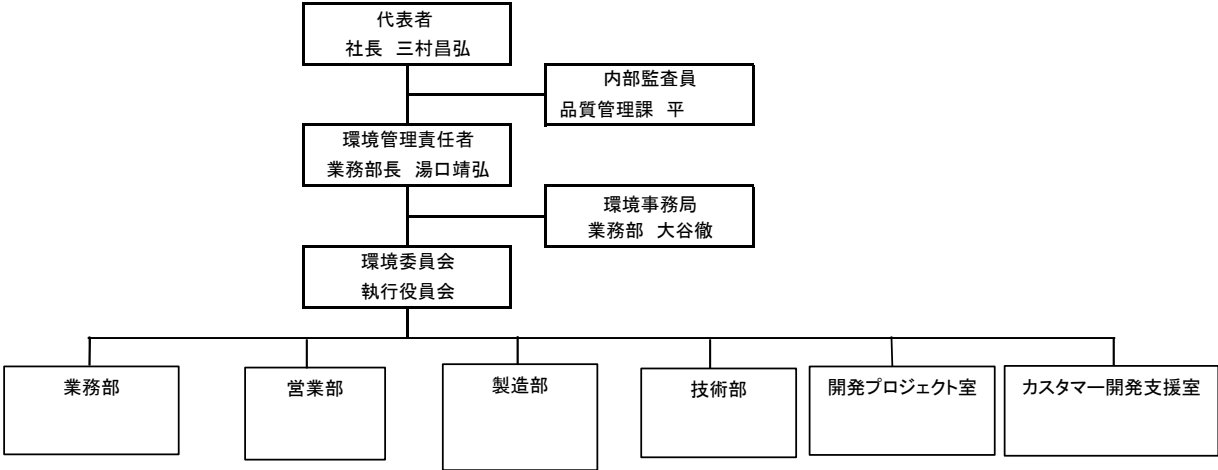
更新日：2024年9月30日

- ## □認証・登録の対象組織・活動

対象外：東京事務所、浜松出張所 2024年度末までに認証取得
活動：バルシングマシン及びタイヤユニフォームマシンの設計・製造・販売

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年9月30日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

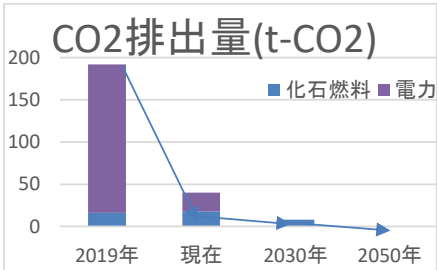
項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	210,962	47,266	39,943
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	14	12	14
産業廃棄物排出量	トン	42	44	8
水使用量	m ³	938	2,137	3,044
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)	本社	0.472	0.000	0.000
	東京事務所		0.408	0.408
	浜松出張所		0.434	0.434

kg-CO₂/kWh

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO₂

	化石燃料	電力	対 策
2019年	16	176	
現在	18	22	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	8	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



□環境経営目標及びその実績

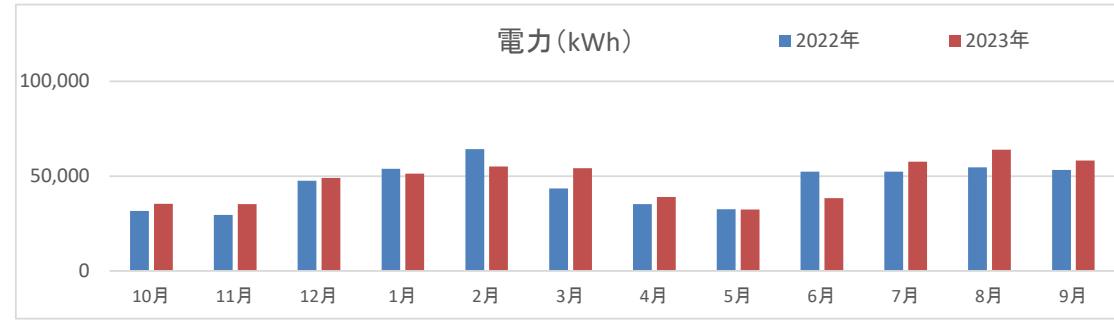
年 度		2022年	2023年		評 価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	534,328	528,985	528,985	×	523,641	518,298
	基準年度比		99%	99%		98%	97%
	kWh/千円	0.126	0.125	0.13	×	0.124	0.123
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	29,132	28,841	22,148	○	28,549	28,258
	基準年度比		99%	98%		98%	97%
	L/千円	1.85	1.83	1.70	○		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	47,266	46,794	39,943		46,321	45,848
一般廃棄物の削減	kg	12,967	11,670	14,393	×	11,670	11,541
	基準年度比		90%	111%		90%	89%
混合廃棄物の削減	kg/千円	3.068	2.761	3.19	×		
	t	18.0	16.2	2.2	○	12	12
	基準年度比		90%	12%		68%	67%
水道水の削減	kg/千円	4.259	3.833	0.49	○		
	m ³	2,354	2,236	3,044	×	2,213	2,189
	基準年度比		95%	129%		94%	93%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

※原単位は売上千円あたり

□環境経営計画の取組結果とその評価

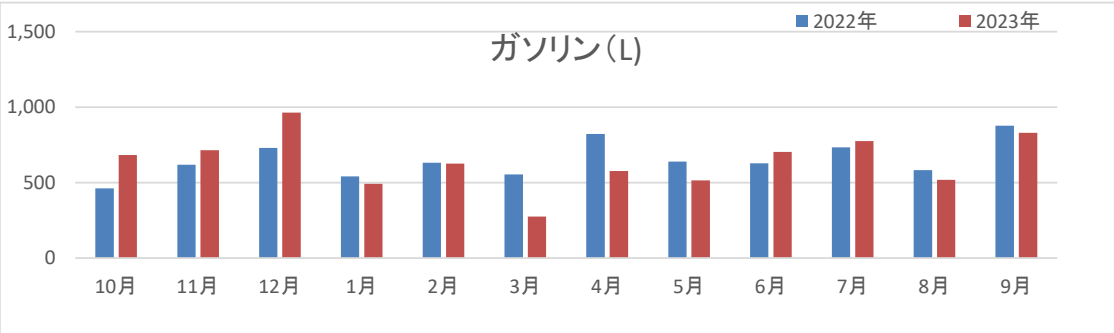
数値目標:○達成 ×未達成
活動:○よくできた △まあまあできた ×できなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標(kWh)	×	本社の電力は増加したが浜松と東京では減少した。本社はCO2ゼロのため合計値が電力では増加、CO2は減少となった。 次年度も本社にて再エネ電力購入を継続するが、浜松出張所と東京事務所は関西電力と東京電力からの供給のため省エネを推進し消費電力の抑制に取り組みたい。
数値目標(kg-CO2)	○	
原単位目標	×	
・空調温度の適正化	○	
・不要照明の消灯	○	
・機器の待機電力のカット	×	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



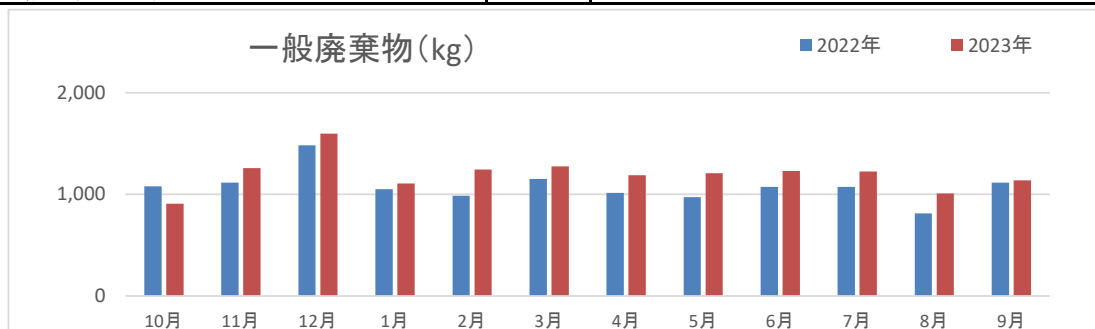
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	31,669	29,579	47,595	53,847	64,254	43,570	35,206	32,609	52,381	52,381	54,644	53,333
2023年	35,395	35,289	49,078	51,266	55,103	54,212	39,067	32,338	38,393	57,624	63,899	58,213

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	東京事務所と浜松出張所が加わったこと、受注増と売り上げ回復により顧客訪問と現地作業者の出張が増加し社用車の使用が増加傾向と予測していたが基準年よりガソリン使用量が減少した月が多くみられる。目標値の95%は達成できなかったが東京事務所と浜松出張所が加わっていることを考慮すると削減で来ていると考える。
原単位目標	○	
・アイドリングストップ	△	



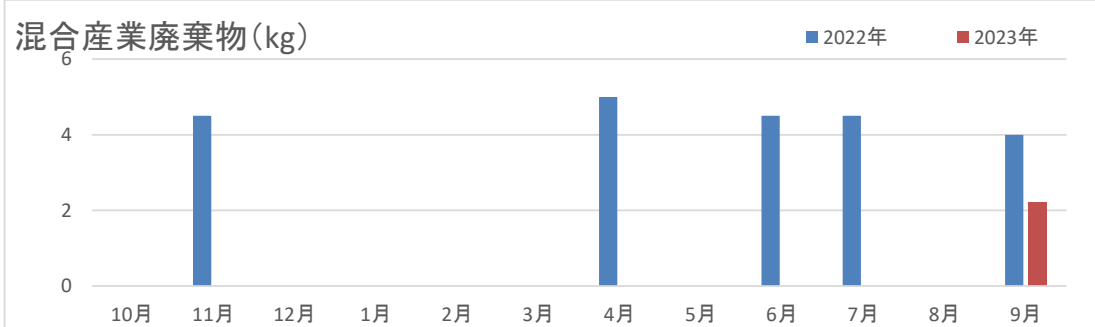
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	461	618	730	540	631	555	822	639	627	734	582	877
2023年	683	715	964	492	625	275	577	514	703	775	517	830

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電子化を進めてはいるものの紙媒体が必要な工程がまだ存在している。引き続き電子化を推進していく。
原単位目標	×	
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	○	



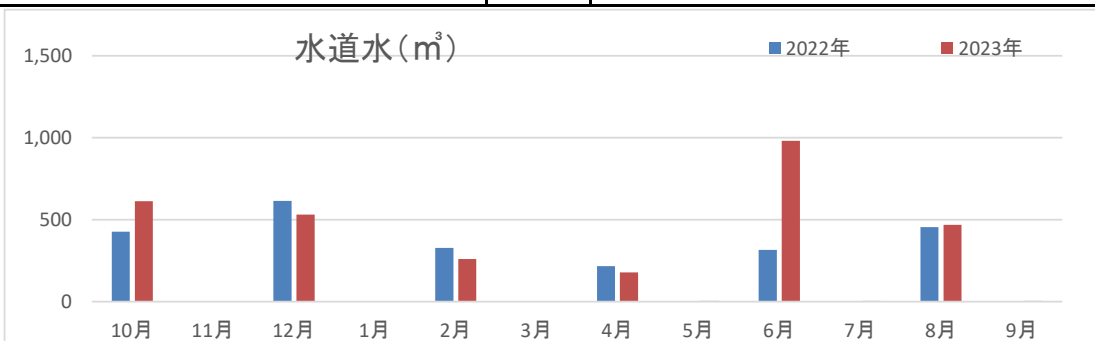
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,080	1,116	1,483	1,051	986	1,152	1,015	972	1,073	1,073	814	1,116
2023年	907	1,260	1,598	1,109	1,246	1,274	1,188	1,210	1,231	1,224	1,008	1,138

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	執行役員会で議題にしたことで意識づけができたのか大幅減となった。引き続き削減に努めたい。
原単位目標	○	
・作業ミスによる廃棄量の削減	△	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	×	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	0	5	0	0	0	0	5	0	5	5	0	4
2023年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	浜松事務所と東京事務所が加わり増加を見込んでいたが6月の本社使用量が大きく原因を調べたい。
・散水方法の工夫	△	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	427	0	614	0	327	0	217	0	315	0	454	0
2023年	612	0	531	0	260	0	179	4	981	4	468	5

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・不良率低減	△	ユニフォミティ事業が加わり生産活動も活発になってきた。生産効率を向上させていきたい。
・生産性向上	△	
・顧客クレーム削減	△	
・廃棄率削減	△	

12 つくる責任
つかう責任



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（木くず、廃プラ等）
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

特にありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年11月8日	■実施場所 本社
■参加者： 全社員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 消防署全面協力のもと消防訓練を行った。	
■評価： 手順書の変更の必要? ☐ あり ☒ なし 新工場での2回目の訓練となったが、概ね問題なく実施できた。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月15日

電力は自家消費型太陽光パネルの設置と再エネ電力の採用によりCO2ゼロを達成した。また、工場では化石燃料を使用していないことからゼロカーボン工場を実現することができた。
東京事務所と浜松事務所を対象範囲に含めて環境活動に取り組んでいく。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり *2023年度実績を踏まえ目標計画を策定
実施体制	☐ 変更なし	☒ 変更あり *新体制で取り組んでいく